

# 第27回腸内細菌学会学術集会 概要 (現地開催)

メインテーマ「マイクロバイオーム研究のフロントライン

～分野の垣根を越えて未踏の大地へ～

会期：2023年6月27日(火)～28日(水)

会場：タワーホール船堀(東京都江戸川区船堀4-1-1)

大会長：長谷 耕二(慶應義塾大学)

事前参加登録：事前参加登録期間：2023年3月1日(水)～6月5日(月)

：会員 8,000円 一般 12,000円 学生会員 1,000円 学生(一般) 2,000円

※当日参加は、会員 9,000円 一般 13,000円 学生会員 1,500円 学生(一般) 2,500円

大会ホームページ：<https://bifidus-fund.jp/meeting/index.shtml>

お問い合わせ先：公益財団法人腸内細菌学会事務局

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-24-12

TEL: 03-5319-2669 FAX: 03-5978-4068 e-mail: jbf@ipecc-pub.co.jp

※開催方法・プログラムは変更になる可能性がありますのでご了承下さい。

## 【6月27日(火)】

- ・9:55～10:00 開会の挨拶 大会長 長谷 耕二(慶應義塾大学)
- ・10:00～12:30 若手ワークショップ 口頭発表(※優秀発表賞選考対象演題)  
ワークショップ1 口頭発表(一般枠)
- ・13:30～14:20 特別講演 竹田 潔(大阪大学)  
「腸内細菌と宿主の相互作用機構」
- ・14:20～14:45 研究奨励賞授賞式および受賞講演
- ・15:00～16:40 シンポジウム1 『新たなアプローチで読み解く宿主-微生物間相互作用』  
細川 正人(早稲田大学/bit-Biome株式会社)  
「ヒト共生・未培養微生物におけるシングルセルゲノム解析の活用法」  
豊福 雅典(筑波大学生命環境系)  
「細菌の細胞外膜小胞を介した相互作用」  
木村 俊介(慶應義塾大学薬学部)  
「腸内細菌が産生する微粒子と宿主細胞との相互作用機構」  
西山 啓太(東北大学大学院農学研究科)  
「細菌の共生関係から紐解く腸内細菌の消化管定着」
- ・16:50～17:50 若手ワークショップ ポスター発表
- ・18:00～19:00 情報交換会(2F 福寿+桃源)

---

6月27日(火) 13:30~15:30 (小ホール)

**市民公開講座『腸活のすゝめ』(オンデマンド配信も実地予定)**

國澤 純 (医薬基盤・健康・栄養研究所)

「あなたのお腹は大丈夫?腸内環境から考えるあなたの健康未来」

内藤 裕二 (京都府立医科大学)

「長寿研究から見えてきた日本人腸内細菌叢の特徴」

※事前参加登録制(参加費無料)です。

---

**【6月28日(水)】**

9:30~12:30 International symposium co-organized by AMED-CREST “Microbiome” :

The impacts of oral and intestinal microbiota in health and diseases

• Plenary lecture

**Yasmine Belkaid** (National Institute of Allergy and Infectious Diseases, NIAID)

“Multikingdom control of tissue immunity”

• Invited lecture

**Nobuhiko KAMADA** (University of Michigan / Osaka University IFRc)

“Pathogenic communications between the mouth and gut”

**Hideyuki TAMAKI** (Advanced Industrial Science and Technology)

“Cultivation renaissance in the post-metagenomics era for human gut microbiome research”

**Shinya MURAKAMI** (School & Graduate School of Dentistry Osaka University)

“Periodontal pathogens exacerbate hyperglycemia by altering gut microbiota”

**Akihiro OKAMOTO** (National Institute for Materials Science, NIMS)

“Native Genetic Barcode in Bacterial Membrane Vesicle from the Human Microbiome”

• 13:30~14:10 ワークショップ2 口頭発表 (一般枠)

• 14:10~14:40 BMFH セミナー

辻 典子 (十文字学園女子大学)

「食による免疫機能と腸内環境の調節」

• 14:55~16:55 シンポジウム2 『消化管マイクロバイオームの新たな役割』

一戸 猛志 (東京大学医科学研究所)

「腸内細菌とインフルエンザ」

金井 祐太 (大阪大学微生物病研究所)

「腸内環境の変動による下痢症ウイルス感染感受性の変化」

松木 隆広 (ヤクルト中央研究所)

「ビフィズス菌のオリゴ糖・植物由来多糖の利用と有機酸産生」

佐藤 尚子 (理化学研究所生命医科学研究センター)

「細菌により制御され免疫臓器として働く胃の役割」

・ 16 : 55 ~ 17 : 00 閉会の辞